

第5回 TOKIWA SPIRIT 英語プレゼンテーションイベント開催！

2019年11月20日 於：Q棟センターホール

2019年11月20日（水）、第5回となる常磐大学・常磐短期大学生による英語プレゼンテーションイベント「TOKIWA SPIRIT」が開催されました。今年度は、人間科学部、国際学部、短期大学のさまざまな分野を専攻する6グループ8名の学生が集まりました。

発表の内容は、海外留学の体験談や留学を通して感じたこと、現在関心のある事など多岐に渡り、当日会場に集まった聴衆に最も素晴らしいと思った発表1つを投票してもらいました。今年度のプレゼンテーション・アワードを受賞したのは、「What is Your English for?」というテーマで発表した国際学部英米語学科4年の土地将敏さんでした。

土地さんは、昨年秋 Semester にアメリカへ留学した経験を基に、「何のための英語を学ぶのか?」について発表しました。アメリカへ留学するまでは、英語を勉強する理由について特に考えたことはなかったそうですが、留学先で日本語がわからない人々とも英語を使ってコミュニケーションをとり、彼らの考え方などが理解できたことで、土地さん自身がより広い視野で物事を捉えられようになった、というお話でした。そして、本学の学生に向けても、世界の共通言語としての英語を学習し続け、上手に使いこなして行ってほしいと語ってくれました。



富田学長による開会の挨拶



MCを務めた人間科学部心理学科1年大河内 愛里さん（左）と短期大学キャリア教養学科1年井坂実咲さん（右）

人間科学部教育学科 3年 木村 佑多さん



ことで気分転換をしましょう、と伝えました。

昨年に引き続き、二度目の出場となった木村さんは、今回、自分の好きなテレビ番組、とりわけ、日本で有名なお笑いタレントがでる番組を紹介。疲れた時や落ち込んだ時には、お笑い番組を見る



国際学部英米語学科 4年 石田 佳也さん



自らの意見を発信する自分へと少しずつ変えていった体験を披露しました。

土地さんと同時期、アメリカに留学した石田さんは、内気な性格だった自分への挑戦として留学を決意。コツコツと準備を重ね、留学する機会を手にしたことで、積極的に人と関わり自信をもって



短期大学キャリア教養学科 1年 降矢 こゆきさん



での選手たちの苦労や落ち込みを共有したいと伝えました。

ラグビーワールドカップでラグビー熱が一気に加速した日本。降矢さんは長年のラグビーファンとして、頂点を目指す選手たちが、日頃どれほど過酷な練習の日々を送っているか、華やかな舞台裏



人間科学部教育学科 3年 永瀬 まいさん



タイへの留学で、LGBTのクラスメートとの出会いから、LGBTのテーマを考えるようになった永瀬さん。LGBTが問いかけるのは、レインボーカラーに象徴される多様な価値観を肯定する生き方。

誰もが自分らしく生きることを選べる社会の大切さを訴えました。



人間科学部心理学科 4年 中野 宏紀さん 国際学部英米語学科 4年 福田 怜奈さん 国際学部英米語学科 4年 寺嶋 拓也さん



昨年度、カナダのランガラ・カレッジとともに留学した3人。学習スタイル、ホームステイ体験、留学による収穫、という視点でそれぞれが留学体験を紹介しました。単なる学習科目としての英語から、コミュニケーションツールとしての英語を学ぶ、という視点の変化から、積極的に活動する姿勢も身についたことも触れられました。



国際学部英米語学科 4年 土地 将敏さん



「何のための英語を学ぶのか？」を問いかけた土地さん。今や世界の共通言語となった英語であるけれど、何を学ぶにしても動機は大切。よい理由である必要はないけれど、一つの理由をもつことは大事で、英語を学ぶ理由が多ければ

多いほど、英語の上達に繋がる、と発表を展開。そして何より英語は「使う」ことが大切、と結びました。



【第5回 TOKIWA SPIRIT Presentation Award 受賞】



フロアから最も票を得た土地 将敏さんに、プレゼンテーション・アワードのトロフィーが贈呈されました。



発表者 8 名と司会を務めた学生、さらに運営をサポートした学生や最後までフロアに残ってくださった聴衆の皆さんで記念撮影。どの発表者が賞を獲っても不思議でない、素晴らしい発表の余韻に浸りました。